取扱説明書

DAYTONA
R37047 ①/⑥

アジャスタブルリアショック	適応車種	商品NO.
	別記	37047（シルバー）

■ ご使用前に必ずご確認ください■

※本商品のご使用前に最終項に記載のURL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。
※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。
※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

⚠警告	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。
禁止	・本商品は記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。 ・本商品に曲げ・切削・溶接などの加工は行なわないでください。商品の破損だけではなく、車両側の破損や重大な事故につながる恐れがあります。 ・**市販のローダウンブラケットの装着や車両の加工などにより、車両本来のリアショック取り付け位置を変更しないでください。リアショックや車両が破損する原因となります。** ・**本商品は純正状態をベースに設計されております。フェンダーやタイヤ、スイングアーム、ホイールなどを純正から変更されている場合にタイヤとフェンダーがフルストローク時に接触する場合があります。社外部品の組み合せには十分注意してください。** ・**取り付け調整幅は「345~355mm」です。この範囲を超えて調整することは、大変危険なため絶対に行なわないでください。** ・サスペンションスプリングに加工などを行なわないでください。本来の性能を低下させたり、重大な事故につながる可能性があります。
実施	・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。
分解禁止	・本商品は非分解式です。ショックアブソーバーの分解や改造、切削加工などは絶対にしないでください。

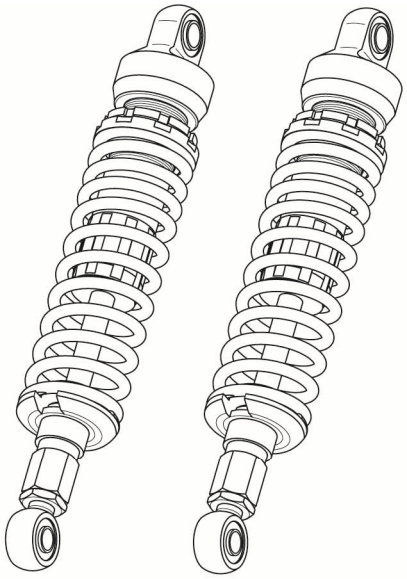
⚠注意	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
実施	・商品取り扱い時に商品の端面や商品に突起やバリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。特に本商品は製造上の工程により端部が鋭くなっております。取り扱いの際は必ず保護手袋を着用し、ケガには十分に注意して作業を行なってください。 ・本商品を開梱の際は、構成部品や外観の不具合、異常がないことを必ず確認ください。万一気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。 ・認証工場など、適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗にて脱着作業をご依頼ください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に車両や商品の損傷や不具合に繋がる場合がございます。 ・作業は安全な場所で車両を安定して支えられるセンタースタンド又はメンテナンススタンドとフロントブレーキロック等を使用し、周囲の安全を確保したうえで行なってください。また安全のために二人以上で作業を行なってください。 ・取り付けは各作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具を使用すると部品の破損やケガをする可能性がございます。 ・ボルトやナット類の締め付けにはトルクレンチを使用して、所定トルクまたは車両メーカー発行のサービスマニュアルで指示されたトルクで確実に締め付けてください。 ・スプリングプリロード調整（イニシャル調整）は同梱の④イニシャル調整ツールまたは専用工具をご使用ください。 ・①リアショックの調整は、左右共に同じ取付長と減衰力に調整してください。 ・車両をメンテナンススタンドから降ろす前に②サイドスタンドが正常に動くことを確認してください。また、車両を降ろした後は①リアショックが正常に動くことを確認してください。 ・本商品の使用の際は水平で平らなアスファルトなどの上でご使用ください。砂利やぬかるみの上では、車両が転倒する可能性があります。 ・本商品を装着することでリア側の車高が下がり、最低地上高やコーナーリング、バンク角、サスペンションのストローク量、クッション性、ギャップ時の挙動などが純正状態から変化します。運転操作に慣れるまで十分に習熟運転を行なってください。 ・取り付け後に約100km走行しましたら各部を必ず点検整備し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。その後は約500km毎に同様の作業を行なってください。

2024/01/10

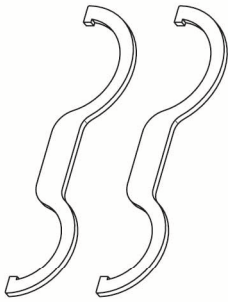
⚠注意	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
法令違反	・本商品の装着時に車高が変化しヘッドライトの光軸調整が、必要になる場合がございます。
その他	・本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は一切お受けできません。また、商品保証は本商品のみが対象になります。 ・転倒履歴がある車両には取り付けできない場合がございます。 ・本商品は素材や製造方法により製品個体差があります。塗装、小キズ、歪みなど程度の差がございます。 ・①リアショックの取付長は±2mm程度の誤差がございます。あらかじめご了承ください。 ・他社製商品などの同時装着は未確認となりますので補償対象外です。 ・本商品はスチールとアルミ、樹脂を使用した商品になります。ご使用の環境や経年変化、使用損耗により素材劣化（アルマイトやサビ含む）が、どうしても早期から進行する場合があります。 ・本商品を取り付けた場合、車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く可能性があります。また走行状況によってはスプリングがサスペンションボディに接触し、キズが付く場合がございます。 ・本商品はオーバーホール可能です。オーバーホールご希望の場合は以下までお問い合わせください。 ㈱デイトナ　カスタムグループ Mail：cus@daytona-mc.jp OH 内容：各種シール類一式と O リング、ピストンリング、ガイドブッシュ、オイル交換と窒素ガス充填。 ※商品の状態によってはOHできない場合や OH 工賃がサスペンション本体価格を上まわる場合がございます。 ・本商品、または本書内でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	リアショック（ブラック）	345~355mm	2	②	イニシャル調整ツール		2



①リアショック



②イニシャル調整ツール

■リアショック スペック表■

スプリングプリロード（イニシャル調整）	無段階調整式
伸び側減衰力調整	20 段（※1）
車高調整幅（自由長）	345 ～ 355mm
バネレート	1.9 ～ 24kgf ／ mm
ストローク	67mm

※1… 伸び側減衰力調整は 21 段以上動きますが、21 段以上は減衰力が変化しません。

車種別取付け条件

車種	年式	条件
900Super　Four（Z1）	‘73～’75	純正リアショック取付長 345mm ・　純正グラブバー装着可能 ・　純正ドライブチェーン不可。530 サイズ以下のドライブチェーンへの交換が必要（チェーンとリアショックが接触するため） ・　純正チェーンカバーはリアショック本体と接触するため使用不可
KZ900	’76	
KZ1000	‘77～’78	
750RS（Z2）	’73～’75	
Z750　Four	’76～’78	
ゼファー1100	‘92～’06	純正リアショック取付長 345mm ・　純正グラブバー/純正ドライブチェーン/純正チェーンカバー装着可能
ゼファー1100RS	‘96～’03	
ゼファー750	‘91～’06	純正リアショック取付長 350mm ・　純正グラブバー/純正ドライブチェーン/純正チェーンカバー装着可能
ゼファー750RS	‘96～’02	
ゼファー400X	‘96～’08	
ゼファー400	‘89～’95	

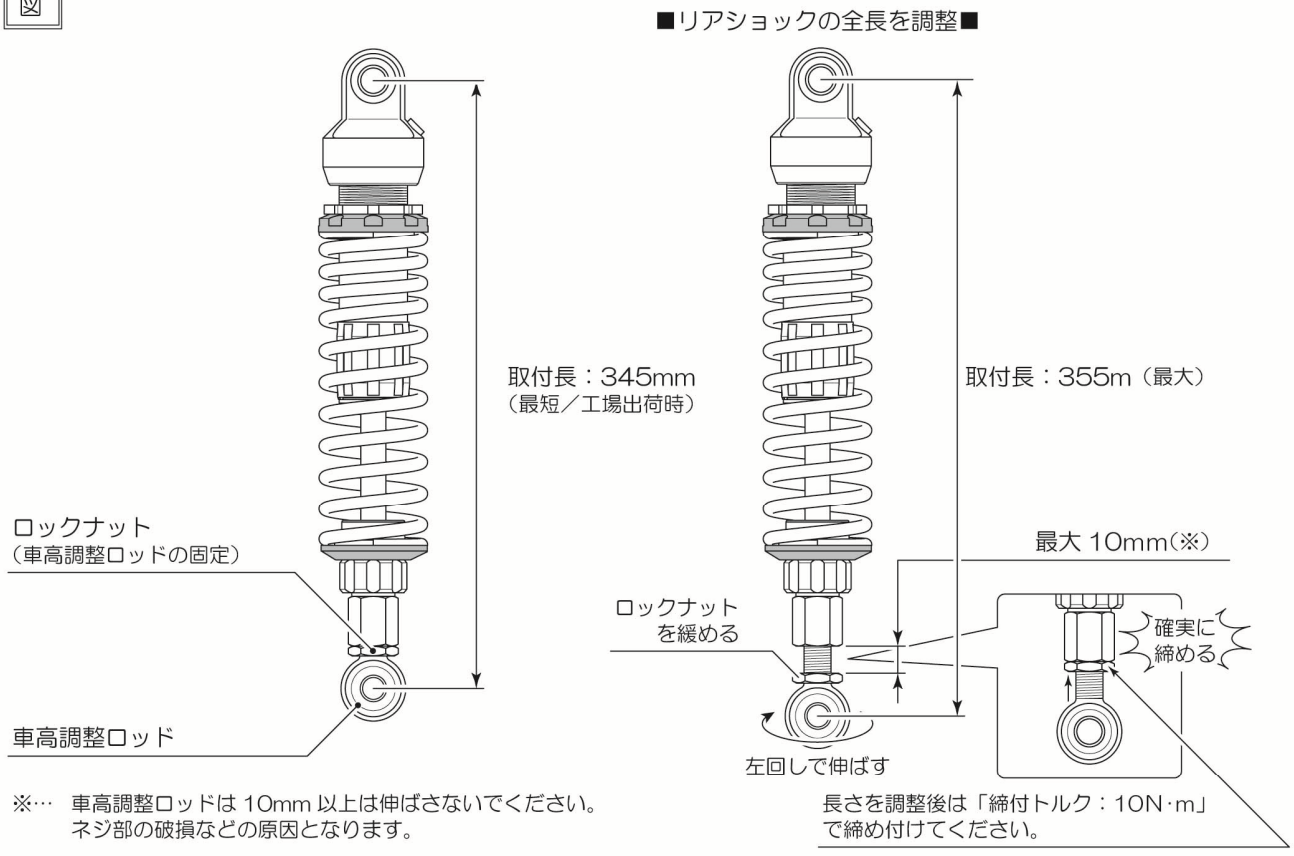
取付方法（ゼファー1100/RS の場合）

【作業前の注意事項】
- 純正部品の取り外しや取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルに従い、正しく行なってください。
- 900Super　Four/750RS 系の車両はグラブバー、シートカウル、チェーンカバーを取り外す作業が必要です。
- 作業を始める前に周囲の安全を確保し、車両を安定させた状態で転倒やケガなどに十分注意して作業してください。
- センタースタンドを使用してリア側をリフトアップさせてください。その後、フロントブレーキロックなどを使用して、フロント側が動かないように車両を固定します。（サイドスタンドのみでの作業は車両が転倒して危険です。）

01．リアショックの取り付け長を調整

・図を参考に、リアショックの取付け長を、調整します。
※最初は純正リアショック取付け長に合わせることをお奨めします。（ゼファー1100/RS の場合、345mmに調整）

図



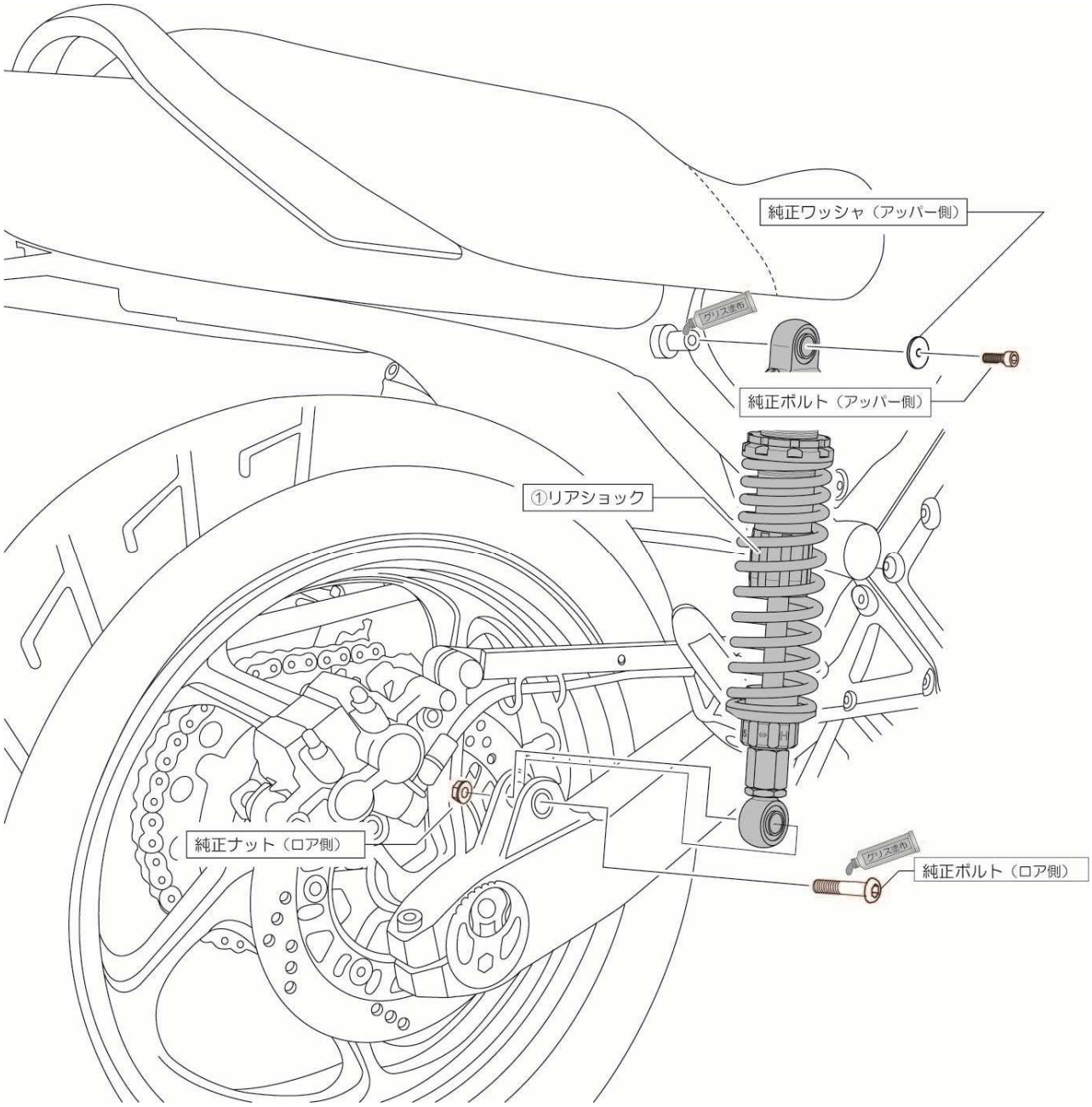
■補足■
- リアショックを長くするとキャスター角が立ち、クイックなハンドリングで旋回性が良くなりますが、直進安定性が悪化します。
- リアショックを短くするとキャスター角が寝て、安定したハンドリングとなり直進安定性も向上します。ただし旋回性が悪くなり、低速走行でハンドルが切れ込みやすくなります。

02. サイレンサーの取り外し

- 左右のサイレンサーを固定しているフロント側の純正ボルトを緩め、リア側の純正ボルトと純正ナット、ワッシャーを取り外し、サイレンサーを取り外します。
- サイレンサーはエキゾーストパイプにガッチリと密着した状態になっておりスムーズに抜けません。ねじったり、上下左右に少しずつ動かしながら引き抜いてください。また動かし過ぎてスタンド等からの車両の脱落には十分注意してください。

03. 純正リアショックの取り外し/取付け

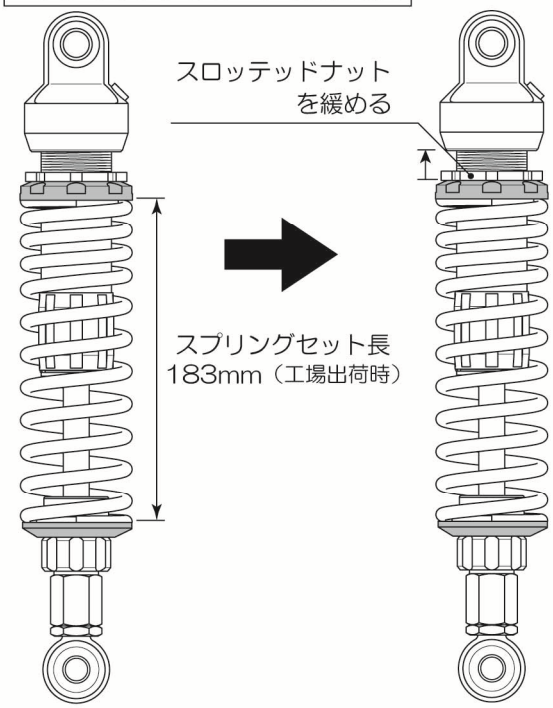
・図を参考に、右側の純正リアショックのアッパー側の純正ボルトと純正ワッシャ、ロワ側の純正ボルトと純正ナットを取り外します。
・車両より純正リアショックを右側のみ引き抜きます。
・純正リアショックが取り付いていたアッパー側のシャフト部とロア側の純正ボルトに薄くグリスを塗布します。
・下図を参考に、車両のリア側を下に押して高さを調整しながら、右側に①リアショックを取り付けます。
・取り外したアッパー側とロア側の純正ボルトと純正ワッシャ、純正ナットを取り付けます。
・左側の純正リアショックも同様に取り外し、①リアショックを取り付けます。

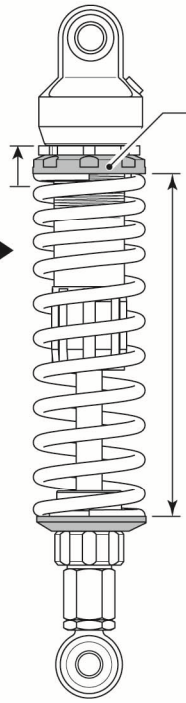


04. スプリングプリロード調整（イニシャル調整）

・下図を参考に、スロッテッドナットを緩めます。
・スプリングプリロード調整ナットを緩め（または締め込み）、スプリングセット長を調整します。
※数値は標準体重（1 人乗り）を想定して推奨している値になります。使用状況やお好みに合わせて調整してください。
※2 人乗りの場合は程度スプリングセット長を 3mm程度短くすることをお奨めします。

■スプリングプリロードの調整方法





※調整後はスロッテッドナットを締め付け固定してください。

■推奨スプリングセット長：186mm
900Super　Four（Z1）
KZ900
KZ1000
750RS（Z2）
Z750　Four

■推奨スプリングセット長：182mm
ゼファー 1100/RS
ゼファー 750/RS

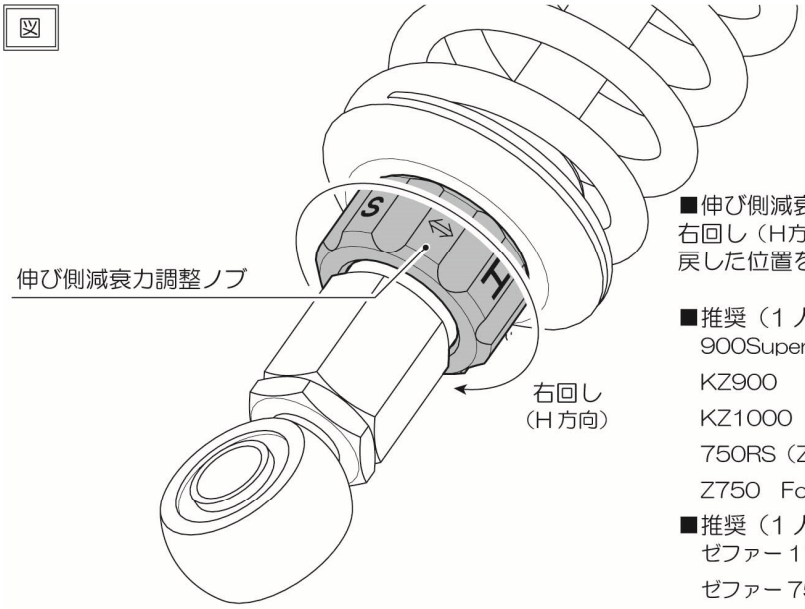
■推奨スプリングセット長：180mm
ゼファー 400/X

※数値は標準体重（1 人乗り）を想定して推奨。実際に走行して、走行状況やお好みに合わせて再調整してください。
※2人乗りの場合は上記推奨スプリングセット長より 3mm程度短く調整してください。
※左右ともに同じ数値に合わせてください。

05. 伸び側減衰力の調整

・下図を参考に、伸び側減衰力調整ノブを右回り（H 方向）に最大まで締め込みます。
・ノブを１クリック戻したところを初期位置（１段目）とします。
・ノブを推奨位置の段数まで回し、走行状況やお好みに合わせてS方向（Soft）やH方向（Hard）に回して調整してください。

図



■伸び側減衰力調整ノブを初期位置にセット
右回し（H方向）に最大まで回します。その後に１クリック戻した位置を初期位置（１段目）とします。

■推奨（1 人乗り）：以下の車種は 18 段目（２人乗り 14 段目）
900Super　Four（Z1）
KZ900
KZ1000
750RS（Z2）
Z750　Four

■推奨（1 人乗り）：以下の車種は 14 段目（２人乗り 10 段目）
ゼファー 1100/RS
ゼファー 750/RS
ゼファー 400/X

※標準体重を想定して推奨しております。実際の走行や好みに合わせて再調整してください。
※調整範囲は 20 段目までになります。21 段以上回りますが調整範囲外のため減衰力は変化しません。

◇調整ノブをS方向（Soft）に回すと◇
⇒リアショックが沈み込んだ後の『戻るスピードが早く』なります。
路面追従性が良くなります。しかしフワフワとした乗り心地になります。
◇調整ノブをH方向（Hard）に回すと◇
⇒リアショックが沈み込んだ後の『戻るスピードが遅く』なります。
ピッチング（上下の揺れ）が抑えられ、落ち着いたフィーリングになります。しかし路面追従性が悪くなり、硬い乗り心地になります。

06. 点検作業

・各部が確実に取り付けられていることを点検してください。異常がなければ作業は終了です。

■商品保証について
商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。
1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面（レシートなど）が必要となります。
※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。 個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。
3. 下記のアドレス（またはQRコード）より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。
デイトナ保証規定
https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php
※保証を受けるご連絡を持って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。

■保証修理のお受付について
お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。
インターネットお問合せ
https://www.daytona.co.jp/contact/form.php

株式会社デイトナ
東証スタンダード上場
〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805
https://www.daytona.co.jp

転載禁止 本取扱説明書の内容の一部、または全ての無断転載を禁止